

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-025869

(43)Date of publication of application : 25.01.2000

(51)Int.Cl.

B65D 85/50

B65D 1/34

B65D 77/26

B65D 81/26

(21)Application number : 10-208622

(71)Applicant : YONEDA TAKEO
TANIMOTO NORIKO
YONEDA YUKIYOSHI

(22)Date of filing : 21.10.1994

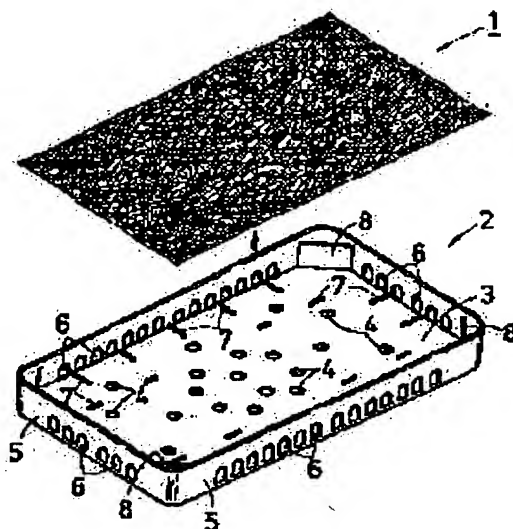
(72)Inventor : YONEDA TAKEO

(54) PAD FOR TRAY, AND METHOD FOR STORING FISH AND SHELLFISH

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent fish and shellfish placed in a tray from being perished by forming a sheet member to be installed on a bottom surface of the tray provided with the water discharging function of a non-woven fabric with gas permeability and water holding property.

SOLUTION: A thin sheet member which is installed on a bottom surface 3 of a tray 2 provided with the water discharging function to place fish and shellfishes thereon, is formed of a non-woven fabric with gas permeability and water holding property, the air is passed through the placed fish and shellfishes, and the drain from the fish and shellfishes is absorbed to make it inconspicuous. The tray 2 has the draining function by providing a large number of through holes 4 in the bottom surface 3, and opening parts 6 to communicate with the bottom surface 3 are provided in a side wall 5 over its whole periphery, and a plurality of projecting bars 7 are provided on the bottom surface 3 to keep fresh the fish and shellfishes placed and stored thereon for a long time, and to absorb water discharged therefrom. The sense of cleanliness, the appearance and the commodity value can be improved thereby.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 10.12.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 12.06.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-25869
(P2000-25869A)

(43) 公開日 平成12年1月25日 (2000.1.25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
B 6 5 D 85/50		B 6 5 D 85/50	R 3 E 0 3 3
1/34		1/34	3 E 0 3 5
77/26		77/26	A 3 E 0 6 7
81/26		81/26	H

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-208622
(62) 分割の表示 特願平6-283012の分割
(22) 出願日 平成6年10月21日 (1994. 10. 21)

(71) 出願人 593022157
米田 武雄
兵庫県三原郡南淡町賀集鍛冶屋821番地 1
(71) 出願人 593022179
谷元 紀子
大阪市阿倍野区松崎町 4 丁目 4 番22-606
号
(71) 出願人 593110362
米田 享良
兵庫県三原郡南淡町賀集鍛冶屋821番地 1
(74) 代理人 100080724
弁理士 永田 久喜

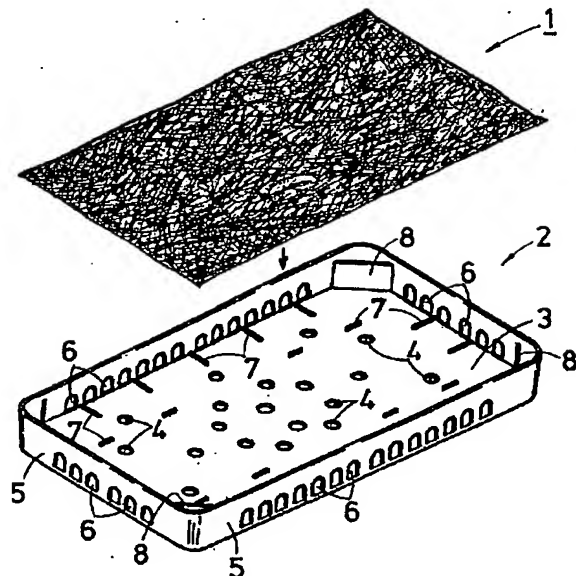
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 トレー用敷物及び魚介類の収納方法

(57) 【要約】

【課題】 トレーに魚介類を収納する場合において、従来該トレーの底面に敷いていた硫酸紙では、通気性が無いため収納された魚介類の硫酸紙との接触部分が変色しやすく、商品価値が早期に低下する問題があった。

【解決手段】 排水機能が備えられたトレーの底面に敷くシート状部材を、通気性及び吸水性を有する不織布で形成する。不織布で形成したトレー用敷物を該トレーに敷くことによって、魚介類の変色を防止させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 排水機能が備えられたトレーの底面に敷くものであって、魚介類を載置させるためのシート状部材を、通気性及び吸水性を有する不織布で形成したことを特徴とするトレー用敷物。

【請求項2】 魚介類を適宜分量に収納するもので、排水機能が備えられたトレーの底面に、通気性及び吸水性を有する不織布で形成したトレー用敷物を敷くことによって、収納した魚介類の該トレー用敷物との接触部の変色を防止させることを特徴とする魚介類の収納方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、魚介類を適宜分量に収納する容器の底に敷くトレー用敷物及びトレーに収納した魚介類の変色を防止する方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般的に、ホタルイカ、イカナゴ、じゃこ、トリガイ等の魚介類は、茹で上げた状態で流通ルートに載せられている。この場合の容器としては、従来では30cm四方程度の大きさの木箱を用いて複数段積み重ねるようにしていたが、現在では木箱に代えてポリプロピレン等のプラスチック製容器が広く利用されている。プラスチック製容器には、複数の単位容器を並列に連結した連結容器とすることで、後で単位容器毎に分割しやすくしたものがある。連結容器には、連結した状態に一体成型したものや、個々の単位容器に連結部を設けて相互に連結するようにしたものなどがある。

【0003】これら魚介類は、先ず容器に収納され、これを複数積み重ねて熱湯に浸漬して茹でられる。そのまま流通ルートに流される場合もあるが、特にホタルイカなどにおいてはザルなどで茹でてから容器に小分けされる。この場合、容器の底面に薄紙を敷いてから、該薄紙の上に載置させるようにしている。従来の薄紙としては、亜硫酸パルプで製した原紙を、濃硫酸液に浸し、水洗、乾燥して仕上げた半透明の耐水、耐脂性のいわゆる硫酸紙が、安価で広く利用されている。薄紙を敷く目的は、容器に直接収納させないようにする清潔感や、魚介類から出る灰汁などを目立たなくすることにある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の硫酸紙を容器の底に敷いた場合には、これに載置した魚介類の腐敗が早期に進みやすくなる問題があった。これは、特に硫酸紙に通気性がほとんどないことに起因するもので、該硫酸紙との接触部分がすぐに変色し、変色した部分から腐敗しやすくなるためである。また、硫酸紙には吸水性がほとんどないため、魚介類から出る灰汁などが吸収できずに溜まって、汚くなり商品価値を阻害する要因ともなっていた。

【0005】

【課題を解決するための手段】そこで本発明者は、上記問題に鑑み鋭意研究の結果、本発明を成し得たものであり、その特徴とするところは、物の発明にあっては、排水機能が備えられたトレーの底面に敷くものであって、魚介類を載置させるためのシート状部材を、通気性及び吸水性を有する不織布で形成したことにある。

【0006】また、方法の発明にあっては、魚介類を適宜分量に収納するもので、排水機能が備えられたトレーの底面に、通気性及び吸水性を有する不織布で形成したトレー用敷物を敷くことによって、収納した魚介類の該トレー用敷物との接触部の変色を防止させることにある。

【0007】ここで本明細書中でいう「トレー」とは、矩形状の底面の周囲を立設面である側壁で取り囲んだ容器であり、該底面に排水機能を備えたものをいう。排水機能としては、収納した魚介類の載置部分に水が溜まらないようにする構造であればよい。例えば、底面に複数の貫通孔を設けたり、ザル状に形成したものなどである。また、冷凍した魚介類を収納する場合は、融けた水を漏らさないようにする必要があり、この場合には、底面に魚介類を載置するための突条や突起等を設けて、融けた水が突条や突起等による魚介類の載置部分より下方に溜まらせる構造でもよい。

【0008】トレー本体の基本的な形状は、単なる容器状の他、側壁の上端部に罎部を設けたものなど、どのようなものでもよい。また、サイズも自由であり限定するものではないが、一般的には50×100mm～200×400mmの範囲内のものである。厚みや材質についても特に限定するものではない。

【0009】「シート状部材」とは、排水機能が備えられたトレーの底面に敷いて魚介類を載置させる薄いシート状のものをいう。本発明においては、このシート状部材を通気性及び吸水性を備えた不織布で形成することで、載置した魚介類に通気性を付与すると共に、該魚介類から出る灰汁等を吸収して目立たなくすることを目的とする。従って、本発明に係るトレー用敷物は排水機能を備えたトレーの底面に敷くことで、これ本来の機能を発揮することができ、これに魚介類を載置させれば、接触部分の変色の防止が図られ、ひいては腐敗の防止にもつながることになる。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図面に示す発明の実施の形態に基づいて詳細に説明する。

【0011】図1は、本発明に係るトレー用敷物1の実施の形態の一例を示すもので、不織布で形成したトレー用敷物1を、排水機能が備えられたトレー2の底面3に敷いて、ホタルイカ等の魚介類を載置収納させる。本例に示したトレー2は、底面3に多数の貫通孔4を設けることによって排水機能を形成すると共に、側壁5の全周に渡って該底面3と連通する開口部6を設けている。ま

た、トレー用敷物1を敷いたときに該トレー用敷物1と底面3との間に隙間を生じさせるように、底面3上に複数の突条7を設けている。このトレー2は、約200×100mm、深さが約20mm、厚みが約1mmのポリプロピレン製のもので、トレー1を積層する場合に、上部のトレー1を支持するための受部8を四隅に設けている。

【0012】図2に示すように通気性のあるトレー用敷物1をトレー2の底面3に敷くことにより、該底面3に設けられた多数の貫通孔4を通じ、これに載置される魚介類への通気性が確保されることになる。従って、従来の硫酸紙を敷いていたときのように、該硫酸紙との接触部分が容易に変色してしまうのを防止できる。また、トレー用敷物1は通気性と共に、吸水性も備えていることから、茹でたときの水分や茹でた後魚介類から分泌する灰汁などを吸収でき、見た目の清潔感を向上させることができる。このため、食料品としての商品価値を高め、しかもその状態を長く維持できることになる。トレー用敷物1としては、従来からホタルイカなどに用いられていた緑色に染めることも可能であり、従来の硫酸紙と同じようにして利用することができ、何ら違和感なく使用することができる。

【0013】トレー用敷物1の実施の形態の他の例としては、図3のように底面3にズレ止突起9を立設したトレー2に載置させるため、該ズレ止突起9に係合させる孔10を設けるようにしてもよい。このようにすれば、トレー用敷物1はこれに穿設した孔10がトレー2のズレ止突起9に係合して、底面3上でズレることなく保持されることになる。これにより、トレー用敷物1に載置したホタルイカ等の魚介類が搬送時などに片寄ってしまうのを防ぐことができる。

【0014】トレー2の排水機能としては、底面3に貫通孔4を設けずに、図4のように底面3に突条を格子状に設けた支持部11を形成してもよい。この支持部11に本発明に係るトレー用敷物1を敷けば、冷凍した魚介類を収納しても融けた水が該トレー用敷物1部分に溜まらないため、該トレー用敷物1による通気性や吸水性を確保することができる。しかも、融けた水はトレー2から流出しないため、スーパーマーケットなどでの陳列の際に周囲を汚さない効果がある。本例に示すトレー2は、発泡プラスチック製のものであるが、ポリプロピレン等のプラスチック製の容器に支持部11を一体成型し

たものでもよい。また、支持部11は突条の他複数の突起を設けて形成させてもよい。さらに、支持部11としては容器と一体成型する他、別体のものを容器の底に置く構造のものでもよい。

【0015】

【発明の効果】以上のように本発明に係るトレー用敷物1は、排水機能が備えられたトレーの底面に敷くものであって、魚介類を載置させるためのシート状部材を、通気性及び吸水性を有する不織布で形成したことにより、これに載置収納させる魚介類の鮮度をより長く維持させることができると共に、魚介類から出る水分等を吸収できるため、清潔感や美観が向上し、商品価値を著しく向上させる効果がある。

【0016】本発明に係る魚介類の収納方法は、魚介類を適宜分量に収納するもので、排水機能が備えられたトレーの底面に、通気性及び吸水性を有する不織布で形成したトレー用敷物を敷くことによって、収納した魚介類の該トレー用敷物との接触部の変色を防止させることにより、収納した魚介類の鮮度を実質的且つ外観的に長期に渡って維持できるなど、実用上極めて有益な効果を有するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るトレー用敷物の実施の形態の一例を示す斜視図である。

【図2】図1に示したトレー用敷物をトレーに敷いた状態を示す斜視図である。

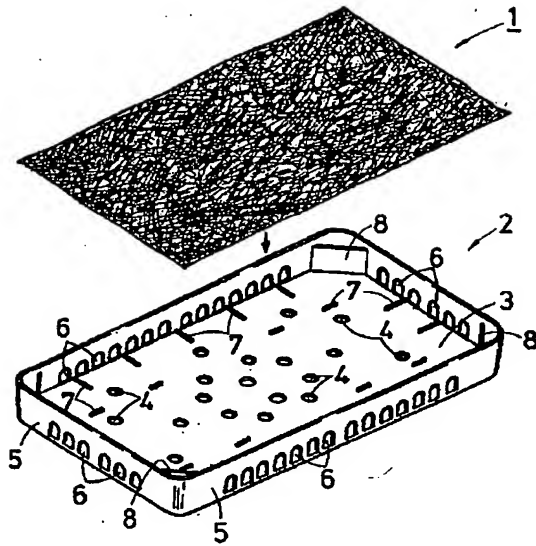
【図3】本発明に係るトレー用敷物の実施の形態の他の例を示す斜視図である。

【図4】トレーの実施の形態の他の例を示す斜視図である。

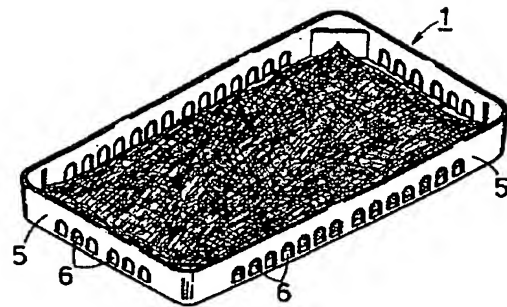
【符号の説明】

- 1 トレー用敷物
- 2 トレー
- 3 底面
- 4 貫通孔
- 5 側壁
- 6 開口部
- 7 突条
- 8 受部
- 9 ズレ止突起
- 10 孔
- 11 支持部

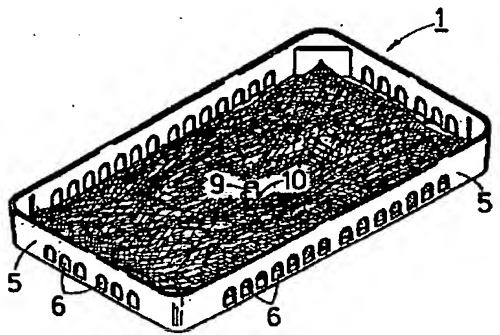
【図1】



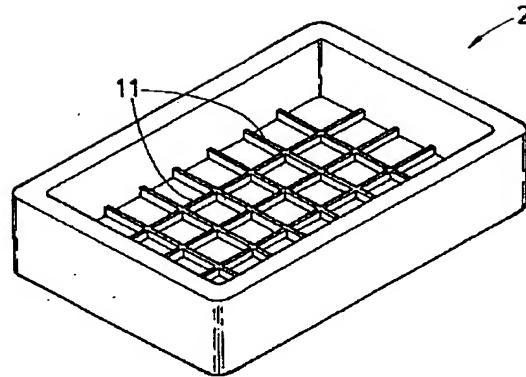
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(72)発明者 米田 武雄
兵庫県三原郡南淡町賀集鍛冶屋821番地1

Fターム(参考) 3E033 AA10 BA13 DD01 DE08 DE09
3E035 AA05 AB03 BA02 BB07 BD03
3E067 AA11 AB02 BA10A BA10C
BA15B BB06A BB06B BB14A
CA03 CA08 CA09 GB07 GB09